

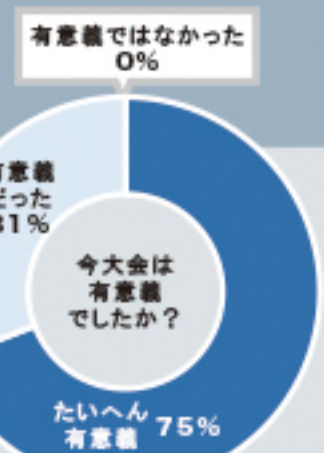
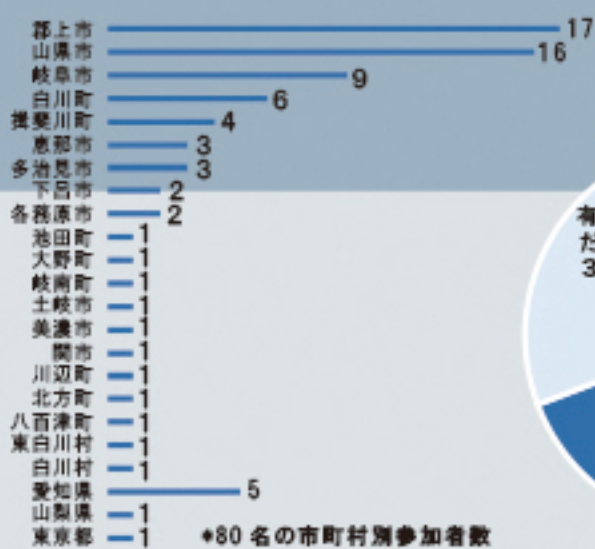


暮らしに触れた、感じた。



特集 ぎふグリーンツーリズムネットワーク大会 報告

*たびけん(神崎コース)「通称化を打開する『ヒトイキ村』の現地を歩く」



*たびけん(葛原コース)「地域のおばあちゃんとのほのぼのの体験ツアー」

地域の持続可能性に
正面から向き合う二日間！
かけがえない暮らしを、笑顔を守りたい！

去る11月16日・17日に、山県市で「第12回ぎふグリーンツーリズムネットワーク大会in山県市」が行われました。コロナ後、初めての一泊二日で実施する大会に、県内外から80名のみなさんが集い、熱気あふれる大会となりました。

たびけん(体感型ツアー型フィールドワーク)に「元氣もらった！」

今年度は、3ヶ所の体感ツアー型フィールドワーク「たびけん」の現地へ直接訪れるところから大会が始まりました。会場のひとつ「神崎コース」は、神崎川沿いのV字谷を奥地へとどんどん進んだ先にある集落で行われました。最初に二つのグループに分かれて、A班は神崎のおばあちゃんたちと「芋餅作り」を体験し、B班はその間に神崎集落を歩いて、地域をまるごと有機的に結びつけて活性化につなぐ「ヒトイキ村」構想の取り組みを見学しながら説明を聞きました。

(裏面に続く)



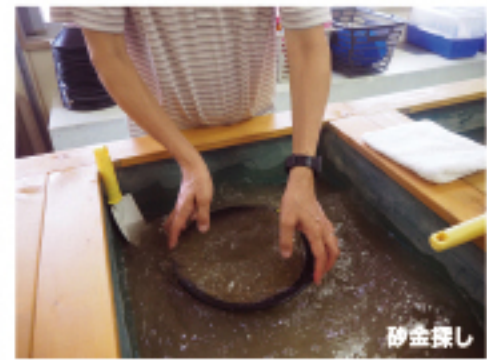
高山市
会員紹介

一般社団法人
おっばら夢組合

note

- 所在地: 高山市清見町大原 600
- TEL: 576-69-2455
- mail: info@hidayume.com
- HP: https://hidayume.com/

おっばら自然体験センターは平成13年度に廃校となった「大原小学校」を改修してグリーン・ツーリズム活動、青少年の育成を目的としたスポーツ・音楽合宿、レクリエーション活動などが行えるよう、宿泊のできる自然体験施設として生まれ変わりました。こちらでは、グラウンドでキャンプやバーベキューができたり、体育館でスポーツや演劇の練習などが可能です。また、大自然と文化を生かした川遊び・魚



砂金探し

つかみや野菜の収穫、熱気球体験など多くの自然体験プログラムをおこなっています。なかでも砂金・水虫・鉱物探検体験は、元地質調査技師の指導で楽しめる鉱物採集が楽しめる大好評です。一度チャレンジしてみませんか？



池田町
会員紹介

草 maruke

note

- 所在地: 揖斐郡池田町
- TEL: 090-1741-4941
- mail: kusamaruke@gmail.com
- 活動歴: 1年
- SNS: 草 maruke - Facebook

草 marukeは、西濃地域を中心に「人と自然をつなぐ」をモットーに、活動を続けています。遠くの山へ行かなくても道端に生えている草など、身近な自然を楽しむことで、日々の生活を豊かにすることができると。そのきっかけづくりとして、自然散策会や野草を食べる会などのワークショップを各地で開催しています。野草を使ったプリンや調味料など、商品開発・販売も行っています。また、人手不足の農



作業のお手伝いをするなどコミュニティの輪を広げ、地域とのつながりを深める活動も大切に行っています。今後も野草入り七味ワークショップや散策会のイベントなど予定していますので是非ご参加ください。

事務局だより information

寒くなってまいりました。事務局は今週からとうとうストーブを使い始めました。年に一度の大会も終わって、お部屋に灯油の匂いがただよ始めると、一気に師走の気分が押し寄せてきます。今年一年、お世話になりました。来年もよろしくお祈りします。

「ぎふの田舎へいこう!」推進協議会

〒501-4307 岐阜県郡上市明宝二間手606-1 郡上市役所明宝庁舎内

- TEL: 0575-87-0128
- mail: gifuina@gmail.com
- 会員用HP: https://gifuina.com
- 公式HP: https://gifu-inaka.pref.gifu.lg.jp
- https://www.facebook.com/gifuina
- https://www.instagram.com/gifuina



道の駅で見ましたか? Gifu-DO通信



今年度春に発行された「Gifu-DO通信」をもう一度ご覧になりましたか? 今年度の第1号は、何よりも会員のみなさんの情報が届くように、各団体ごとにホームページのQRコードを記載しました。まだ掲載されていない会員のみなさんも、第2弾、第3弾で紹介していきますので、ご期待ください!

10月に、去年のアクセス数を上回りました! 前回号でもお伝えしましたが、「ぎふの田舎へいこう!」サイトのアクセス数が伸び続けています。昨年1年間(1月~12月)のアクセス数が6万5千ほどだったのに対して、今年9月の段階で6万を超え、10月には7万2千を超えてしまいました。

広く伝えるためにはまだまだ十分ではありませんが、みなさんの体験プログラムを今以上に寄せていただく、さらに本サイトの魅力アップに繋いでいこうではありませんか?

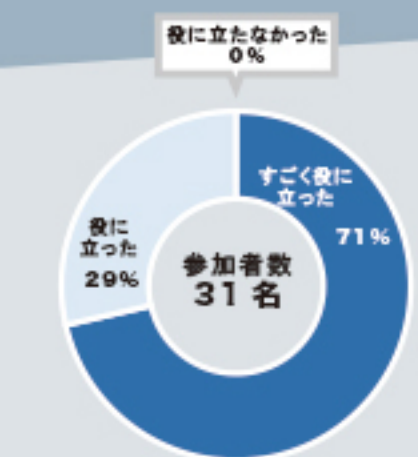


Gifu-DO通信



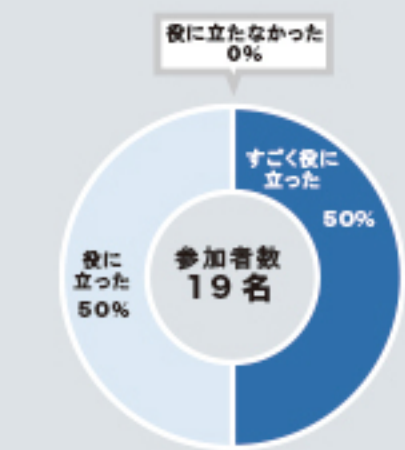
「現場を歩いて初めてわかった！」 課題に向き合うナマの息吹を体感！

神崎コースのアンケートには、「実践現場を体験させていただくことでしか得られない貴重な経験を得ることができました」「実践者と地域住民がどのように混ざり合っているかがとても参考になった」「地域活性化に取り組むスタッフの情熱を感じた」など、現地神崎地区の自然や集落の風景を目の当たりにしながら案内人のお話が聞けたことへの感謝の言葉が数多くみられました。



《たびけん（神崎）のアンケート結果》

また、「良いところ（清流）」と課題（空き家活用・地域同意）が明確に理解できた」「地元の人との交流、体験にゆとり時間をかけた方が満足度が増すことがわかりました」など、たくさんヒントをもらった一日となりました。

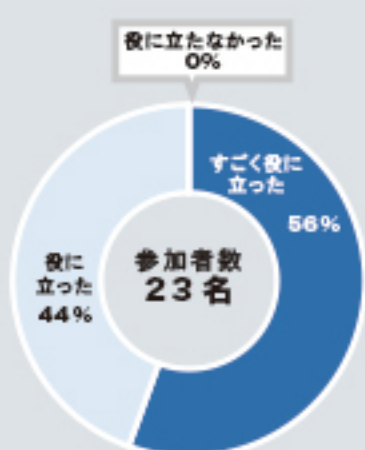


《たびけん（伊自良）のアンケート結果》

地域の宝（伊自良大実柿）を活かして未来を拓く

二つ目のたびけんは、伊自良コースです。ここでは、古くから栽培されている伊自良大実柿を活かして地域活性化を図ろうと活動している若者たちに学びます。大実柿栽培の師匠に手ほどきを受けながら、同時に新しいアイデアを取り入れ現状打開に挑戦する取り組みを、現地を歩きながら見せていただきました。

アンケートには、「外部からは知ることができない地域の事情やチャレンジしている若い人たちの思いや悩みを知ることができた。自分ができる応援について考えたいと思います」「体験を通して伝統を守る加藤さんの話とても素敵でした。体験も



《たびけん（葛原）のアンケート結果》

お客様を大切に 想いが伝わり感動！

三つ目は、葛原コースです。「山県古民家ちごのもり」の女将、田中智津子さんに施設の紹介をしていただきながらお宿を始めた思いや日頃の取り組みを話していただきました。

は感銘しました」「笑いあり難しくなく、とても勉強になりました」「3つの『O(オー)』、おもしろいやり、おすそわけ、おたがいさま。大切にしていきたいことを学びました」など、ほんとうに学びの多い基調講演でした。

「たくさんの方が交流ができた」 「来てよかった！」

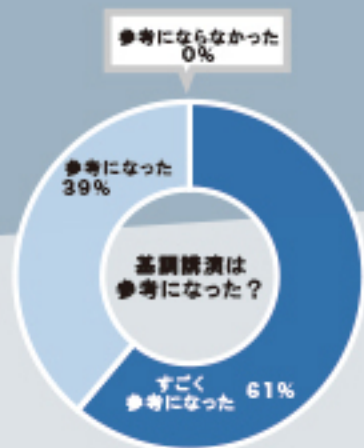
一日目を締めくくるのは大交流会。コロナ後初めての本格的な交流会です。「グリーンプラザみやま」での大交流会には、予想を上回る56名のみなさんが参加して楽しい交流の時間を過ごすことができました。

「リアルな集いは何事にも変え難いと思いました」「交流会でいろんな人と交流できてよかったです。開催していただきありがとうございました」

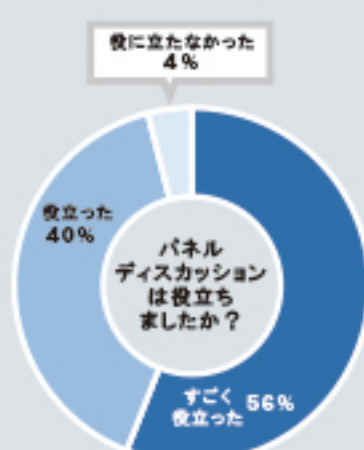
二日目の「たびけん交流会」とパネルディスカッションにも、「少人数の交流がとてもよかった」「他のエリアの話が聞けてよかった」「なにはともあれ、長く続けて欲しい」との声をたくさんいただきました。受入地、山県市のみなさん、ご協力いただいたすべてのみなさん、ほんとうにありがとうございました。

この基調講演は、 青木哲学の集大成だ！

たびけんの3会場でフィールドワークを済ませた参加者のみなさんは、「山県市文化の里花咲きホール」に集まり、青木辰司先生（東洋大学名誉教授）の



《基調講演のアンケート結果》



《パネルディスカッションのアンケート結果》